

# 事業報告書

令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

## (1) 農作物共済関係

(引受)

水稲関係

項目 方式名	組合員数	引受面積	引受筆数	引受収量	共済金額	保険金額	通常責任 共済金額	徴収共済掛金	交付金又は △納入保険料	手持共済掛金
	人	a	筆	kg	円	円	円	円	円	円
全相殺方式	54	7,249.1	687	308,086	57,612,082	/	/	/	/	/
半相殺方式	8,206	319,763.2	38,000	12,569,239	2,350,447,693	/	/	/	/	/
地域インデックス 方式	0	0.0	0	0	0	/	/	/	/	/
合計	8,260	327,012.3	38,687	12,877,325	2,408,059,775	2,222,313,221	68,778,555	3,977,595	1,502,367	5,479,962

項目 支所名	組合員数	引受面積	引受筆数	引受収量	共済金額	保険金額	通常責任 共済金額	徴収共済掛金	交付金又は △納入保険料	手持共済掛金
北部	4,578	175,696.3	18,621	7,068,899	1,321,884,113	/	/	/	/	/
中部	1,870	83,220.5	9,888	3,306,717	618,356,079	/	/	/	/	/
南部	1,812	68,095.5	10,178	2,501,709	467,819,583	/	/	/	/	/
合計	8,260	327,012.3	38,687	12,877,325	2,408,059,775	2,222,313,221	68,778,555	3,977,595	1,502,367	5,479,962

### ○引受の概況

令和6年産水稲の引受面積は3,270.1ha(前年比94.1%、計画比101.7%)で、前年に比べ203.4ha減少した。この内、飼料用米については引受がなかった。

主な減少理由は、高齢化による離農である。近畿農政局公表の作付面積5,680haに対する引受率は57.6%となり前年産より2.5%減となった。

引受収量は、12,877t(前年比95.5%)で県平均実行単収は前年より6kg多い491kgであった。

単位当たり共済金額の告示最高額は187円で前年に対し9円減となった。共済金額は、引受面積及び引受収量の減少により2億3,552万円減の24億806万円(前年比91.1%、計画比103.0%)となった。

1戸当たり平均については、面積39.6a、筆数4.7筆、農家負担掛金は482円で、10アール当たり農家負担掛金は122円となった。



(被 害)

水 稻 関 係

項目 方式名	被 害 者 組 合 員 数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額
全相殺方式	20人	2,162.3 <sup>a</sup>	8,060 <sup>kg</sup>	1,507,220 <sup>円</sup>	2.6%
半相殺方式	325	5,846.6	66,289	12,396,043	0.5
地域インデックス方式	0	0.0	0	0	0.0
合 計	345	8,008.9	74,349	13,903,263	0.6

項目 支所名	被 害 者 組 合 員 数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額
北 部	162人	2,923.4 <sup>a</sup>	31,341 <sup>kg</sup>	5,860,767 <sup>円</sup>	0.4%
中 部	91	3,107.0	20,005	3,740,935	0.6
南 部	92	1,978.5	23,003	4,301,561	0.9
合 計	345	8,008.9	74,349	13,903,263	0.6

○被害及び評価の概況

- ・ 獣 害 イノシシ、シカ、サルによる踏み荒らしや食害が発生した。
- ・ 虫 害 本田移植後、スクミリンゴガイの食害により欠株が発生した。また、一部ほ場でハマキが発生した。
- ・ 干 害 令和6年7月下旬から令和6年8月下旬にかけて、高温で推移したことにより高温障害(不稔)が発生した。
- ・ 病 害 令和6年8月上旬から令和6年8月中旬にかけて、いもち病が発生した。

上記被害により通常災害となった。

(支 払)

項目 区分	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源				
			保 険 金	手 持 共 済 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他
半相殺方式 施設全相殺方式	12月25日	13,832,764 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	5,479,962 <sup>円</sup>	8,352,802 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>
帳簿全相殺方式	3月28日	70,499	0	0	70,499	0	0

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分		項目	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数 計画頭数	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
			頭	頭	頭	%	円	円	円	円
死亡 廃用 共済		搾乳牛	451	580	556	95.9	56,565,000	1,805,464	/	/
		繁殖用雌牛	702	660	664	100.6	150,496,400	838,595		
		育成乳牛 (子牛含)	46	20	21	105.0	3,608,100	52,080		
		育成・肥育牛 (子牛含)	2,115	1,640	1,590	97.0	277,283,000	2,868,870		
		計	3,314	2,900	2,831	97.6	487,952,500	5,565,009		
疾病 傷害 共済		乳用牛	497	450	441	98.0	17,973,653	1,534,238	/	/
		肉用牛	2,817	1,400	1,373	98.1	35,433,334	2,343,203		
		計	3,314	1,850	1,814	98.1	53,406,987	3,877,441		

区分 支所等名	死亡廃用共済									
	搾乳牛		繁殖用雌牛		育成乳牛(子牛等)		育成・肥育牛(子牛等)		合 計	
	引受頭数	共済金額	引受頭数	共済金額	引受頭数	共済金額	引受頭数	共済金額	引受頭数	共済金額
	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円
北 部	2	314,700	144	23,086,500	1	150,600	515	83,596,700	662	107,148,500
中 部	46	8,996,700	203	65,516,500	9	2,113,000	573	133,079,800	831	209,706,000
南 部	508	47,253,600	317	61,893,400	11	1,344,500	502	60,606,500	1,338	171,098,000
合 計	556	56,565,000	664	150,496,400	21	3,608,100	1,590	277,283,000	2,831	487,952,500

区分 支所等名	疾病傷害共済					
	乳用牛		肉用牛		合 計	
	引受頭数	共済金額	引受頭数	共済金額	引受頭数	共済金額
	頭	円	頭	円	頭	円
北 部	2	95,680	395	9,945,179	397	10,040,859
中 部	47	1,732,841	502	12,603,039	549	14,335,880
南 部	392	16,145,132	476	12,885,116	868	29,030,248
合 計	441	17,973,653	1,373	35,433,334	1,814	53,406,987

○引受の概況

死亡廃用共済では2,831頭で、計画頭数2,900頭に対して69頭減の97.6%となった。

疾病傷害共済では1,814頭で、計画頭数1,850頭に対して36頭減の98.1%となった。

総共済金額は、541,359千円で事業計画631,500千円に対して90,141千円減の85.7%となった。

徴収共済掛金には、過年度引受に係る期末調整処理徴収掛金55,610円、交付金については、追加27,327円、返還397,327円を含んでいます。

(事 故)

区分	死亡廃用共済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
項目	頭	頭	頭	円
搾乳牛	24	22	46	4,245,051
繁殖用雌牛	9	2	11	2,058,302
育成乳牛 (子牛含)	2	0	2	63,500
育成・肥育牛 (子牛含)	59	1	60	3,691,500
計	94	25	119	10,058,353

支所等名	搾乳牛		繁殖用雌牛		育成乳牛(子牛等)		育成・肥育牛(子牛等)		合 計	
	死廃頭数	支払共済金	死廃頭数	支払共済金	死廃頭数	支払共済金	死廃頭数	支払共済金	死廃頭数	支払共済金
区分	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円
北 部	0	0	3	813,400	0	0	11	530,700	14	1,344,100
中 部	3	664,569	3	532,502	1	44,000	15	1,494,500	22	2,735,571
南 部	43	3,580,482	5	712,400	1	19,500	34	1,666,300	83	5,978,682
合 計	46	4,245,051	11	2,058,302	2	63,500	60	3,691,500	119	10,058,353

区分	疾病傷害共済	
	件 数	支払共済金
項目	件	円
乳 用 牛	370	2,751,813
肉 用 牛	1,432	13,829,166
計	1,802	16,580,979

支所等名	乳用牛		肉用牛		合 計	
	件 数	支払共済金	件 数	支払共済金	件 数	支払共済金
区分	件	円	件	円	件	円
北 部	0	0	408	6,278,697	408	6,278,697
中 部	126	902,547	470	4,367,331	596	5,269,878
南 部	244	1,849,266	554	3,183,138	798	5,032,404
合 計	370	2,751,813	1,432	13,829,166	1,802	16,580,979

○事故発生の概況

死亡廃用共済では、死廃事故が119頭発生し、支払共済金は1,006万円となった。

疾病傷害共済では、病傷事故が乳用牛で370件(支払共済金275万円)、肉用牛で1,432件(支払共済金1,383万円)の発生となった。

1頭当たり及び1件当たりの支払共済金は以下のとおりである。

(死廃事故)

搾乳牛	92,284 円 (前年	123,002 円)
繁殖用雌牛	187,118 円 (前年	171,464 円)
育成乳牛(子牛含)	31,750 円 (前年	0 円)
育成・肥育牛(子牛含)	61,525 円 (前年	81,925 円)

(病傷事故)

乳用牛	7,437 円 (前年	8,301 円)
肉用牛	9,657 円 (前年	9,544 円)

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年 度	果 樹 区 分		組 員 数	引 受 面 積	標 準 収 穫 量	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	交 付 金 又 は △ 納 入 保 険 料	手 持 共 済 掛 金
			人	a	kg	円	円	円	円
4 年 度	半 相 殺 減 収 総 合 一 般 方 式	うんしゅうみかん	延 3,505 実 2,236	176,244.7	40,676,715	4,555,434,000	132,686,974	117,179,561	249,866,535
		指 定 かんきつ	延 564 実 514	12,604.7	2,721,545	328,048,000	7,181,762	7,073,009	14,254,771
		キウイフルーツ	102	2,072.3	442,229	92,721,000	2,208,068	1,726,709	3,934,777
		計	延 4,171 実 2,852	190,921.7	43,840,489	4,976,203,000	142,076,804	125,979,279	268,056,083
5 年 度	半 相 殺 減 収 総 合 一 般 方 式	うんしゅうみかん	延 3,378 実 2,159	167,717.5	39,059,165	4,442,565,000	129,682,235	114,526,021	244,208,256
		指 定 かんきつ	延 573 実 525	12,274.8	2,539,962	307,918,000	6,550,793	6,451,622	13,002,415
		も も	延 334 実 220	6,094.8	613,892	203,335,000	6,186,889	4,439,382	10,626,271
		び わ	80	1,708.9	48,225	25,825,000	1,315,286	489,410	1,804,696
		か き	延 611 実 497	17,044.9	2,835,183	328,375,000	9,114,739	8,607,020	17,721,759
		う め	延 1,567 実 1,480	94,983.5	12,452,239	3,059,361,000	117,252,893	85,490,897	202,743,790
		す も も	56	1,274.8	99,241	28,059,000	886,994	625,339	1,512,333
		キウイフルーツ	99	1,976.5	379,446	83,769,000	2,287,322	1,788,555	4,075,877
			計	延 6,698 実 5,116	303,075.7	58,027,353	8,479,207,000	273,277,151	222,418,246

※ 令和5年度引受(うんしゅうみかん454a)(指定かんきつ140a)において、年度途中で農業経営収入保険(法人)への移行により前年議案書と相違

年 度	果 樹 区 分	組 合 員 数	引 受 面 積	標 準 収 穫 量	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	交 付 金 又 は △ 納 入 保 険 料	手 持 共 済 掛 金	
6 年 度	半 相 殺 減 収 総 合 一 般 方 式	うんしゅうみかん	延 3,130 実 2,010	154,154.6	36,234,139	4,116,235,000	119,464,479	105,502,895	224,967,374
		指 定 かんきつ	延 503 実 471	10,823.9	2,232,375	282,037,000	6,028,521	5,937,228	11,965,749
		も も	延 305 実 201	5,364.4	537,371	180,011,000	5,229,789	3,752,574	8,982,363
		び わ	70	1,542.5	37,347	19,998,000	1,042,753	387,985	1,430,738
		か き	延 567 実 465	15,824.0	2,630,433	300,410,000	8,118,445	7,666,048	15,784,493
		う め	延 1,395 実 1,320	82,372.5	10,479,199	2,632,117,000	98,507,861	71,823,551	170,331,412
		す も も	50	1,112.8	85,946	24,670,000	756,800	533,552	1,290,352
		キウイフルーツ	92	1,950.5	369,850	83,474,000	2,200,029	1,720,344	3,920,373
		計	延 6,112 実 4,679	273,145.2	52,606,660	7,638,952,000	241,348,677	197,324,177	438,672,854

## ○引受の概況

### ・7年産うんしゅうみかん(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 135.6ha の減、事業計画に対し 139.9ha の未達となった。引受率については 23.3%となり、前年に比べ 1.5%低下した。  
共済金額は指示単収が上昇したものの、引受面積が減少したことから前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	93.1%	引受面積	91.9%	共済金額	92.7%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	91.7%	共済金額	92.4%

### ・8年産指定かんきつ(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 14.5ha の減、事業計画に対し 15.8ha の未達となった。引受率については 6.8%となり、前年に比べ 0.8%低下した。  
共済金額は引受面積の減少並びに指示単収が下がったことから前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	89.7%	引受面積	88.2%	共済金額	91.6%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	87.3%	共済金額	90.8%

### ・7年産もも(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 7.3ha の減、事業計画に対し 7.5ha の未達となった。引受率については 7.7%となり、前年に比べ 1.0%低下した。  
共済金額は指示単価が上昇したものの、引受面積の減少したことから前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	91.4%	引受面積	88.0%	共済金額	88.5%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	87.8%	共済金額	88.3%

### ・7年産びわ(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 1.7ha の減、事業計画に対し 1.6ha の未達となった。引受率については 48.2%となり、前年に比べ 2.1%低下した。  
共済金額は引受面積の減少及び指示単収が下がったことから前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	87.5%	引受面積	90.3%	共済金額	77.4%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	90.7%	共済金額	77.9%

・7年産かき(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 12.2ha の減、事業計画に対し 12.3ha の未達となった。引受率については 6.5%となり、前年に比べ 0.4%低下した。

共済金額は引受面積の減少及び指示単収が下がったことから前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	93.6%	引受面積	92.8%	共済金額	91.5%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	92.8%	共済金額	91.6%

・7年産うめ(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 126.1ha の減、事業計画に対し 126.0ha の未達となった。引受率については 16.7%となり、前年に比べ 2.7%低下した。

共済金額は指示単価が上昇したものの、引受面積の減少及び指示単収が下がったことにより前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	89.2%	引受面積	86.7%	共済金額	86.0%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	86.7%	共済金額	86.1%

・7年産すもも(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 1.6ha の減、事業計画に対し 1.4ha の未達となった。引受率については 4.1%となり、前年に比べ 0.3%低下した。

共済金額は指示単価が上昇したものの、引受面積の減少及び指示単収が下がったことにより前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	89.3%	引受面積	87.3%	共済金額	87.9%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	89.0%	共済金額	89.6%

・7年産キウイフルーツ(半相殺一般)

引受面積は前年度実績に対し 0.3ha の減、事業計画に対し 0.3 ha の未達となった。引受率については 12.3%となり、前年に比べ 0.1%低下した。

共済金額は指示単価が上昇したものの、引受面積の減少及び指示単収が下がったことにより前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	92.9%	引受面積	98.7%	共済金額	99.6%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	98.5%	共済金額	99.5%

・果樹共済目的計

引受面積は主に収入保険への移行により前年度実績を下回ったため 299.3ha の減、事業計画に対し 304.5ha の未達となった。引受率については 16.3%となり、前年に比べ 1.6%低下した。

共済金額は引受面積の減少並びに指示単収が下がったことから前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・ 実戸数	91.5%	引受面積	90.1%	共済金額	90.1%
事業計画対比	・・・・・・・・		引受面積	90.0%	共済金額	89.9%

年 度	支所名 果樹区分		北 部 支 所				中 部 支 所				南 部 支 所				計				
			組 合 員 数	引 受 面 積	引 受 園 地 数	共 済 金 額	組 合 員 数	引 受 面 積	引 受 園 地 数	共 済 金 額	組 合 員 数	引 受 面 積	引 受 園 地 数	共 済 金 額	組 合 員 数	引 受 面 積	引 受 園 地 数	共 済 金 額	
6 年 度	半 相 殺 減 収 總 合 一 般 方 式	うんしゅうみかん	人 延 616 実 392	a 32,957.4	園 2,852	千円 788,445	人 延 2,334 実 1,441	a 114,204.2	園 10,687	千円 3,200,725	人 延 180 実 177	a 6,993.0	園 432	千円 127,065	人 延 3,130 実 2,010	a 154,154.6	園 13,971	千円 4,116,235	
		指 定 かん ぎ つ	延 101 実 97	1,835.2	190	37,857	延 383 実 355	8,490.7	1,066	236,398	延 19 実 19	498.0	28	7,782	延 503 実 471	10,823.9	1,284	282,037	
		も も	延 305 実 201	5,364.4	946	180,011	延 実								延 305 実 201	5,364.4	946	180,011	
		び わ	53	1,207.5	173	15,479	17	335.0	24	4,519					70	1,542.5	197	19,998	
		か き	延 567 実 465	15,824.0	1,429	300,410	延 実								延 567 実 465	15,824.0	1,429	300,410	
		う め	延 89 実 89	1,835.6	172	22,522	延 77 実 77	2,065.9	178	59,497	延 1,229 実 1,154	78,471.0	4,424	2,550,098	延 1,395 実 1,320	82,372.5	4,774	2,632,117	
		す も も	35	738.8	86	12,758						15	374.0	34	11,912	50	1,112.8	120	24,670
		キウイフルーツ	75	1,516.8	150	64,979	17	433.7	36	18,495					92	1,950.5	186	83,474	
合 計		延 1,841 実 1,407	61,279.7	5,998	1,422,461	延 2,828 実 1,907	125,529.5	11,991	3,519,634	延 1,443 実 1,365	86,336.0	4,918	2,696,857	延 6,112 実 4,679	273,145.2	22,907	7,638,952		

(被 害)

項 目 果樹区分・年産	被 害 組合員数	認 定 減 収 量	共 済 金 額	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額
	人	kg	千円	円	%
うんしゅうみかん 半相一般5年産	延 758 実 668	3,950,699	4,555,434	213,657,780	4.7
キウイフルーツ 半相一般5年産	19	35,468	92,721	3,370,890	3.6
指定かんきつ 半相一般6年産	延 104 実 102	207,730	328,048	10,740,550	3.3
もも 半相一般6年産	延 86 実 74	78,093	203,335	14,924,990	7.3
びわ 半相一般6年産	25	5,596	25,825	1,679,450	6.5
かき 半相一般6年産	延 143 実 136	399,318	328,375	32,325,700	9.8
うめ 半相一般6年産	延 929 実 877	4,176,004	3,059,361	658,685,340	21.5
すもも 半相一般6年産	17	13,030	28,059	1,910,960	6.8
合 計	延 2,081 実 1,918	8,865,938	8,621,158	937,295,660	10.9

## ○被害及び評価の概況

### ア. 令和5年産 うんしゅうみかん(半相殺一般)

- ・風 水 害:令和5年6月2日の台風第2号(最大瞬間風速 26.5m/s)の通過に伴う豪雨の影響により一部園地で土砂流入・流出の被害が発生した。また、令和5年8月14日から15日にかけての台風第7号(最大瞬間風速 32.0m/s)の通過に伴う強風の影響により傷果・擦れ果等が発生した。
- ・干 害:令和5年7月中旬から令和5年9月下旬にかけて高温・少雨・多照が続き、果実の肥大抑制・日焼け果が発生した。
- ・虫 害:令和5年8月中旬から令和5年9月上旬にかけてカメムシが大量発生したことにより、吸害果が発生した。

### イ. 令和5年産 キウイフルーツ(半相殺一般)

- ・ひょう 害:令和5年4月19日の降ひょうにより落葉が発生したことから着花数が減少した。
- ・雨害湿潤害:開花期にあたる令和5年5月中旬から令和5年5月下旬にかけて降雨の日が多く、花腐れ細菌病による着果不良園が発生した。
- ・干 害:令和5年7月中旬から令和5年9月下旬にかけて高温・少雨・多照が続き、果実の肥大抑制・日焼け果が発生した。
- ・風 水 害:令和5年8月14日～15日にかけての台風第7号(最大瞬間風速 32.0m/s)の通過に伴う強風の影響により傷果・擦れ果・ニエ果が発生した。

### ウ. 令和6年産 指定かんきつ(半相殺一般)

- ・干 害:令和5年7月中旬から令和5年11月上旬にかけて高温・少雨・多照が続き、果実の肥大抑制が発生した。
- ・風 水 害:令和5年8月14日から15日にかけての台風第7号(最大瞬間風速 32.0m/s)の通過に伴う強風の影響により傷果・擦れ果等が発生した。

### エ. 令和6年産 もも(半相殺一般)

- ・高温多雨:令和6年4月の高温による生育前進及び令和6年6月中旬以降の急激な降雨により果肉障害による落果が多発した。
- ・虫 害:令和6年4月下旬から令和6年5月中旬にかけてカメムシが大量発生したことにより、吸汁された幼果の落果が多発した。

オ. 令和6年産 びわ(半相殺一般)

- ・虫 害:開花期以降、令和6年2月上旬から令和6年5月中旬にかけて、産地全域でビワキジラミの影響により、腐敗果や汚損果が発生した。

カ. 令和6年産 かき(半相殺一般)

- ・日 照 不 足:令和6年6月下旬から令和6年7月上旬の日照不足により生理落果が多発した。
- ・虫 害:令和6年5月上旬から令和6年10月上旬のカメムシが大量発生したことにより吸害果が発生した。
- ・干 害:令和6年7月中旬から令和6年10月下旬の高温・多照により日焼け果が発生した。

キ. 令和6年産 うめ(半相殺一般)

- ・暖 冬 害:暖冬(令和5年12月中旬から令和6年1月中旬)の影響により、不完全花による結実不良が多発した。
- ・ひ ょ う 害:令和6年3月20日、有田地域・御坊地域・田辺地域を中心に降ひょうによる、傷果が発生した。
- ・虫 害:令和6年4月下旬から令和6年6月上旬にかけてカメムシが大量発生したことにより吸害果が発生した。

ク. 令和6年産 すもも(半相殺一般)

- ・雨害湿潤害:開花期間中、令和6年3月中旬から令和6年4月上旬の降雨により訪花昆虫の活動が鈍り受精不良が多発した。

地域名 果樹区分・年産	和歌山・那賀・伊都			海草・有田			日高・西牟婁・東牟婁			計		
	被害 組合員数	被害面積	共済金	被害 組合員数	被害面積	共済金	被害 組合員数	被害面積	共済金	被害 組合員数	被害面積	共済金
うんしゅうみかん 半相一般5年産	延 33 実 32	1,002.0	3,441,970	延 666 実 578	28,785.1	200,477,890	延 59 実 58	1,826.0	9,737,920	延 758 実 668	31,613.1	213,657,780
キウイフルーツ 半相一般5年産	9	178.0	1,358,920	10	172.5	2,011,970				19	350.5	3,370,890
指定かんきつ 半相一般6年産	延 16 実 16	232.0	727,280	延 82 実 80	1,550.3	9,542,320	延 6 実 6	121.0	470,950	延 104 実 102	1,903.3	10,740,550
もも 半相一般6年産	延 77 実 65	1,291.5	12,868,690	延 9 実 9	250.9	2,056,300				延 86 実 74	1,542.4	14,924,990
びわ 半相一般6年産				25	407.0	1,679,450				25	407.0	1,679,450
かき 半相一般6年産	延 121 実 117	3,685.0	28,760,480	延 22 実 19	591.6	3,565,220				延 143 実 136	4,276.6	32,325,700
うめ 半相一般6年産	延 39 実 39	800.0	2,837,480	延 18 実 18	412.6	2,081,000	延 872 実 820	56,352.9	653,766,860	延 929 実 877	57,565.5	658,685,340
すもも 半相一般6年産	13	283.0	1,332,020	1	30.0	73,640	3	64.0	505,300	17	377.0	1,910,960
合 計	延 308 実 291	7,471.5	51,326,840	延 833 実 740	32,200.0	221,487,790	延 940 実 887	58,363.9	664,481,030	延 2,081 実 1,918	98,035.4	937,295,660

(支 払)

項 目 果樹区分・年産	支払年月日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金 %
			保 険 金 円	手 持 掛 金 充 当 額 円	法 定 積 立 金 充 当 額 円	特 別 積 立 金 充 当 額 円	そ の 他 円	
うんしゅうみかん 半相一般5年産	令和6年5月28日	213,657,780	/	249,866,535	/	/	/	100.0
キウイフルーツ 半相一般5年産	令和6年5月28日	3,370,890		3,934,777				100.0
指定かんきつ 半相一般6年産	令和6年7月30日	10,740,550		14,254,771				100.0
も 半相一般6年産	令和7年1月30日	14,924,990		10,626,271				100.0
び 半相一般6年産	令和6年10月21日	1,679,450		1,804,696				100.0
か 半相一般6年産	令和7年3月18日	32,325,700		17,721,759				100.0
う 半相一般6年産	令和6年10月21日	658,685,340		202,743,790				100.0
すもも 半相一般6年産	令和7年1月30日	1,910,960		1,512,333				100.0
合 計		937,295,660	157,863,096	502,464,932	276,967,632	0	0	100.0

(4)園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分 項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
	人	棟	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円
ガラス室Ⅰ類								
ガラス室Ⅱ類	28	36	31,298	420,605,723	341,540,982	147,822	110,231	258,053
プラハウスⅠ類								
プラハウスⅡ類	1,178	3,431	1,163,451	4,100,298,065	3,287,977,442	17,544,306	10,793,298	28,337,604
プラハウスⅢ類	309	509	430,340	1,977,807,949	1,500,223,976	8,857,053	7,119,562	15,976,615
プラハウスⅣ類甲	233	367	238,900	1,880,660,258	1,394,837,944	6,629,786	5,776,252	12,406,038
プラハウスⅣ類乙	53	76	52,582	578,447,223	461,714,392	406,161	309,350	715,511
プラハウスⅤ類	271	381	272,237	2,830,673,702	2,304,999,397	2,297,768	1,746,391	4,044,159
プラハウスⅥ類	54	344	45,310	136,929,769	109,067,579	724,643	509,983	1,234,626
プラハウスⅦ類								
合 計	延 2,126 実 1,313	5,144	2,234,118	11,925,422,689	9,400,361,712	36,607,539	26,365,067	62,972,606

支所等名 項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
	人	棟	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円
北 部	495	1,852	740,838	3,944,323,010	2,941,268,008	15,198,714		
中 部	383	1,965	841,063	4,713,169,389	3,810,218,975	11,778,538		
南 部	435	1,327	652,217	3,267,930,290	2,648,874,729	9,630,287		
合 計	1,313	5,144	2,234,118	11,925,422,689	9,400,361,712	36,607,539	26,365,067	62,972,606

○引受の概況

特定園芸施設の引受戸数は、前年に比べ16戸増の1,313戸で、棟数は59棟減の5,144棟(前年比98.9%)となった。主な要因は、プラスチックハウスⅡ類を中心に、高齢化に伴う離農や耐用年数を大幅に超過した施設を除外できることによる減少。

設置面積は、2,234,118m<sup>2</sup>で前年より1,440m<sup>2</sup>(前年比99.9%)減少したが、共済金額については94億36万円(前年比101.7%)で前年より1億5,742万円増加した。

事業計画に対しては、引受棟数(計画比95.3%)、共済金額(計画比98.8%)とも計画数値を下回った。

## (被 害)

施設区分	被 害				損害の額	共 済 金				保 険 金	共 済 金 共済金額
	組合員数	棟 数	附帯施設数	撤去費用		特 定 園芸施設	附帯施設	徹去費用	合 計		
	人	棟	基	基	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類											
ガラス室Ⅱ類											
プラハウスⅠ類											
プラハウスⅡ類	68	85			4,489,806	3,502,691			3,502,691	14,277	0.11
プラハウスⅢ類	17	19			1,089,832	882,457			882,457		0.06
プラハウスⅣ類甲	16	17			1,217,201	949,931			949,931		0.07
プラハウスⅣ類乙	3	3			811,024	648,818			648,818		0.14
プラハウスⅤ類	7	7			361,216	288,970			288,970		0.01
プラハウスⅥ類	6	10			552,655	442,121			442,121		0.41
プラハウスⅦ類											
合 計	延 117 実 90	141	0	0	8,521,734	6,714,988	0	0	6,714,988	14,277	0.07

支所等名	被 害				損害の額	共 済 金				保 険 金	共 済 金 共済金額
	組合員数	棟 数	附帯施設数	撤去費用		特 定 園芸施設	附帯施設	徹去費用	合 計		
	人	棟	基	棟	円	円	円	円	円	円	%
北 部	37	67			3,437,899	2,612,974			2,612,974		0.09
中 部	37	58			4,398,339	3,553,623			3,553,623	14,277	0.09
南 部	16	16			685,496	548,391			548,391		0.02
合 計	90	141	0	0	8,521,734	6,714,988	0	0	6,714,988	14,277	0.07

## ○被害及び評価の概況

被害の主な要因は、低気圧の通過に伴う強風によるものである。

低気圧の通過については、特に5月28日最大瞬間風速27.9m/s、11月2日最大瞬間風速26.2m/s、11月26日最大瞬間風速19.5m/s(和歌山地方気象台)が発生し、本体及び被覆材に被害が発生した。

令和6年度の被害棟数141棟の共済事故の内訳は、風害136棟、雪害1棟、その他気象上の原因による災害2棟、鳥害2棟であり、支払共済金は671万円であった。

## (支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金	備 考
	保 険 金	手持共済掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他		
円	円	円	円	円	円	%	
6,714,988	14,277	6,700,711	0	0	0	100.0	

(5)任意共済関係

農機具損害共済

(引 受)

項目 支所等名	組合員数	加入台数	共済金額 万円	共 済 掛 金			1台当たり平均 共 済 金 額 万円
				純共済掛金 円	賦課金 円	合 計 円	
北 部	74	106	20,380	709,992	212,177	922,169	192
中 部	12	19	1,936	70,140	21,126	91,266	102
南 部	26	41	10,997	417,991	125,964	543,955	268
合 計	112	166	33,313	1,198,123	359,267	1,557,390	201

○引受の概況

引受台数は、前年度実績を下回り、20台減の166台となった。共済金額についても、前年度より2,967万円減の3億3,313万円となった。

また、事業計画に対しては、引受台数で16台増(計画比110.7%)、共済金額で3,654万円増(計画比112.3%)となった。

機種別では多い順で、草刈機33台、乗用トラクター26台、コンバイン18台、スピードスプレイヤー16台、田植機14台等となっている。

・前年度対比 …… 加入戸数 89.6% 加入台数89.2% 共済金額91.8%

・事業計画対比 …………… 加入台数 110.7% 共済金額 112.3%

(事 故)

項目 支所等名	加入総 共済金額 万円	共 済 事 故 の 種 類				被害率 %	
		接 触	水 害	そ の 他	計		
北 部	20,380	事故台数	3台		1台	4台	0.15
		支払共済金	201,108円		114,442円	315,550円	
中 部	1,936	事故台数				0台	0.00
		支払共済金				0円	
南 部	10,997	事故台数			2台	2台	0.22
		支払共済金			243,823円	243,823円	
合 計	33,313	事故台数	3台		3台	6台	0.17
		支払共済金	201,108円		358,265円	559,373円	

○事故の概況

事故台数は6台で前年度に比べ5台増となり、支払共済金については56万円の支払いとなった。

機種別には、コンバイン3台(19万円)、草刈機2台(23万円)、田植機1台(14万円)となっている。

(6) [受託事業] 農業経営収入保険関係

(引受) 令和6年4月～令和7年3月に保険期間が開始した加入経営体

項目 支所名	青色申告数 ※	加入目標	令和6年度加入実績			達成率	
			個人	法人	対青色申告数	対加入目標	
	経営体	経営体	経営体	経営体	経営体	%	%
北部支所	3,387	870	828	809	19	24.4	95.2
中部支所	2,290	560	570	555	15	24.9	101.8
南部支所	2,451	1,020	1,089	1,074	15	44.4	106.8
合計	8,128	2,450	2,487	2,438	49	30.6	101.5

※ 青色申告数：2020年農林業センサス(確定値)のうち現金主義を除いた値

○ 引受の概況

令和6年度の加入実績は、加入目標2,450経営体に対し、個人2,438経営体、法人49経営体の計2,487経営体となり、達成率101.5%となった。

(支払) 令和5年1月～令和5年12月に保険期間が開始した加入経営体【個人1,847経営体・法人46経営体 計1,893経営体】

項目 支所名	令和5年 加入実績	補償金額	支払件数		支払金額			金額 被害率
			支払戸数率	支払金額	保険金	特約補てん金		
	経営体	円	経営体	%	円	円	円	%
北部支所	727	7,810,107,379	239	32.9	511,713,037	263,468,677	248,244,360	6.6
中部支所	401	5,778,300,661	103	25.7	269,462,218	101,432,580	168,029,638	4.7
南部支所	765	10,104,305,516	607	79.3	2,348,585,731	1,549,567,895	799,017,836	23.2
合計	1,893	23,692,713,556	949	50.1	3,129,760,986	1,914,469,152	1,215,291,834	13.2

○ 支払の概況

令和5年加入の支払実績は、加入経営体の50.1%にあたる949経営体に対して、約31億2,976万円の保険金等が支払われた。

## (7) 業務関係

## ア 重要な処理事項

年 月 日	処 理 事 項	場 所
令和6年 4月 4～8日	近畿地区新任職員研修会	兵 庫 県
4月 9日	事業推進会議	和 歌 山 市
4月 12日	近畿地区参事会議	京 都 府
4月 17日	執行体制検討委員会	和 歌 山 市
4月 24日	第1回理事会	和 歌 山 市
4月 25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
4月 26日	全国広報参事等会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
5月 8日	収入保険事業初任者研修会並びに初任管理職研修会（リモート）	和 歌 山 市
5月 9日	全国和牛能力共進会和歌山県出品推進協議会監査会	和 歌 山 市
5月 10日	和歌山県による事務費賦課承認ヒアリング	和 歌 山 市
〃	新入社員研修会	和 歌 山 市
5月 14～16日	監事会及び決算監査	和 歌 山 市
5月 15日	近畿地区農業共済組合長会議	兵 庫 県
〃	畜産協会わかやま監事会	和 歌 山 市
5月 17日	損害評価会果樹共済部会	和 歌 山 市
5月 20日	和歌山県農業再生協議会総会	和 歌 山 市
5月 22日	第1回余裕金運用管理委員会、第1回コンプライアンス改善委員会	和 歌 山 市
〃	公正採用選考人権啓発推進員研修会	和 歌 山 市
5月 27日	和歌山県植物防疫協会理事会	和 歌 山 市
〃	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
5月 29日	農林年金連絡協議会事務責任者会議	和 歌 山 市
〃	収入保険テレビ会議	和 歌 山 市
〃	和歌山県獣医師会理事会	和 歌 山 市
5月 30日	第2回理事会	和 歌 山 市
〃	畜産協会わかやま第1回理事会	和 歌 山 市
〃	全国和牛能力共進会和歌山県出品推進協議会総会	和 歌 山 市
〃	第1回全国和牛能力共進会和歌山県出品推進協議会委員会	和 歌 山 市
〃	和歌山県地方農業気象協議会幹事会（テレビ会議）	和 歌 山 市
6月 4日	不当要求防止責任者講習会	和 歌 山 市
6月 6日	[協会] 第1回理事会 [全国連] 第1回理事会	東 京 都
6月 10～14日	第1回普及推進研修会	東 京 都
6月 11日	近畿地区広報委員会議	京 都 府
6月 14日	生産獣医療提供体制構築支援事業等に係る全国説明会（テレビ会議）	和 歌 山 市
6月 17日	和歌山県植物防疫協会総会	和 歌 山 市
6月 18～21日	第1回管理職研修会	東 京 都
6月 25日	[協会] 第1回全国特定組合長・会長会議、第148回通常総会、第2回理事会	東 京 都
〃	[全国連] 第28回通常総会、第2回理事会	東 京 都
〃	和歌山県農業会議総会・常設審議委員会	和 歌 山 市
6月 27～28日	W e b 技術基礎コース研修会	東 京 都
6月 27日	第8回通常総代会	海 南 市
〃	理事・監事研修会	海 南 市
6月 28日	和歌山県信用農業協同組合連合会総会	和 歌 山 市

年 月 日	処 理 事 項	場 所
令和6年 6月 28日	畜産協会わかやま定時総会	和 歌 山 市
〃	収入保険担当者会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
7月 1～5日	第2回普及推進研修会	東 京 都
7月 2日	わな捕獲技術向上研修に係る業務委託事業者選定委員会	和 歌 山 市
7月 3日	和歌山県社会保険委員会研修会	和 歌 山 市
7月 4日	第27回近畿獣医畜産技術交流会	兵 庫 県
7月 10日	第1回全国参事会議	東 京 都
〃	農林水産省主催果樹共済研修会（リモート）	和 歌 山 市
〃	和歌山県種牛共進会第1回打ち合わせ会議	和 歌 山 市
7月 11日	第1回西日本地区参事交流会議	東 京 都
7月 17～19日	NOSA I 理事研修会	東 京 都
7月 18～19日	近畿地区任意共済広域災害損害評価研修会	奈 良 県
7月 19日	NOSA I 専務・常務会議	東 京 都
〃	農林水産省主催農業保険外交員研修（リモート）	和 歌 山 市
7月 22日	畜産経営指導事業に係る畜産経営体支援指導研究会	和 歌 山 市
〃	損害評価会果樹共済部会	和 歌 山 市
7月 23日	和歌山県畜産振興協議会通常総会	す さ み 町
〃	NOSA I 職員研修会	湯 浅 町
7月 25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
7月 26日	NOSA I 職員研修会	湯 浅 町
7月 30日	農業共済団体の運営状況に関するヒアリング（リモート）	和 歌 山 市
〃	農業保険システムW e b 化開発状況説明会（テレビ会議）	和 歌 山 市
7月 31日	和歌山県収入保険推進協議会通常総会	和 歌 山 市
〃	みどりの食糧システム戦略会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
8月 2日	近畿地区園芸施設共済担当者会議	兵 庫 県
8月 5～6日	源泉所得税調査	和 歌 山 市
8月 19～20日	収入保険実務担当者研修会	東 京 都
8月 20日	第2回執行体制検討委員会	和 歌 山 市
8月 26日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
8月 28日	和歌山県による農業共済組合ヒアリング	和 歌 山 市
〃	「未来へつなぐ」サポート運動全国推進会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
9月 2日	農林水産省企画調査班会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
9月 4日	[協会] 第4回理事会、第2回全国特定組合長・会長会議	東 京 都
〃	[全国連] 第4回理事会	東 京 都
9月 5日	農業委員会研修会	紀 の 川 市
9月 5～6日	農業経営収入保険事業初任者研修会	東 京 都
〃	農林水産省主催家畜共済研修会（リモート）	和 歌 山 市
9月 6日	家畜防疫・衛生指導対策事業に係る地域自衛防疫演習等推進講習会	和 歌 山 市
9月 9～11日	第1回幹部職員研修会	東 京 都
9月 10日	第1回収入保険W e b 会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
9月 11日	第2回コンプライアンス改善委員会、第2回余裕金運用管理委員会	和 歌 山 市
9月 17～20日	システム運用管理者養成研修会（情報セキュリティ対策実践コース）	東 京 都
9月 22日	獣医学術近畿地区学会	大 阪 府

年 月 日	処 理 事 項	場 所
令和6年 9月24日	熊野牛子牛共進会	田 辺 市
9月25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
9月26日	第3回理事会	和 歌 山 市
9月27日	収入保険テレビ会議	和 歌 山 市
9月30日	第2回全国和牛能力共進会和歌山県出品推進協議会委員会	田 辺 市
〃	和歌山県種牛共進会第2回打ち合わせ会議	田 辺 市
10月1日	第1回退職給与金施設運用委員会	東 京 都
10月1～4日	第2回管理職研修会	東 京 都
10月2日	野菜価格安定対策事業に係る担当者研修会	和 歌 山 市
〃	農林漁業人権啓発推進会議	和 歌 山 市
10月7日	近畿地区家畜共済担当者会議	和 歌 山 市
〃	社会保険担当者研修会	和 歌 山 市
〃	農林漁業人権啓発推進会議	湯 浅 町
10月8日	植物防疫協会実地研修会	紀 の 川 市
〃	和歌山県鳥獣害対策協議会幹事会	和 歌 山 市
10月9日	第2回全国参事会議	東 京 都
10月10日	第2回西日本地区参事交流会議	東 京 都
〃	農林漁業人権啓発推進会議	田 辺 市
10月11日	損害評価会果樹共済部会	和 歌 山 市
10月15日	農林漁業人権啓発推進会議	か つ ら ぎ 町
10月18日	改正法人税説明会	和 歌 山 市
10月21日	安全運転管理者講習会	岩 出 市
10月25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
〃	安全運転管理者講習会	田 辺 市
〃	防火・防災体験研修会	和 歌 山 市
10月29日	監事会及び上半期監事監査	田 辺 市
〃	安全運転管理者講習会	湯 浅 町
〃	公正採用選考人権啓発推進員研修会（リモート）	和 歌 山 市
10月30日	監事会及び上半期監事監査	和 歌 山 市
10月31日	任意共済制度全国研修会	東 京 都
10月31日	Web版果樹共済システム開発に係る打ち合わせ会議	東 京 都
～11月1日		
11月1日	農林水産省主催法令研修会（リモート）	和 歌 山 市
〃	近畿地区広報委員会議	大 阪 府
11月8日	[協会] 第5回理事会 [全国連] 第5回理事会	東 京 都
〃	農林水産省主催園芸施設共済研修会（リモート）	和 歌 山 市
11月9日	第6回和歌山県種牛共進会	田 辺 市
11月12日	安全運転管理者講習会	和 歌 山 市
11月20日	果樹共済システムWeb化PT会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
11月21日	第3回コンプライアンス改善委員会、第3回余裕金運用管理委員会	和 歌 山 市
〃	収入保険担当者会議	和 歌 山 市
11月25日	全国NOSA I大会世話人会（テレビ会議）	和 歌 山 市
〃	年末調整説明会	和 歌 山 市
11月25～26日	人権研修会	和 歌 山 市

年 月 日	処 理 事 項	場 所
令和6年 11月 27日	全国NOSA I大会、NOSA I職員全国研修集会	東 京 都
11月 28～29日	家畜診療等技術地区別発表会及び研修会	兵 庫 県
11月 29日	近畿地区広報委員会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
〃	「企業における人権」講演会	和 歌 山 市
12月 4日	第4回理事会	和 歌 山 市
〃	植物防疫協会講演会	和 歌 山 市
12月 10日	近畿地区参事会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
12月 16日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
〃	損害評価会農作物共済部会	和 歌 山 市
12月 18日	第2回任意共済事業推進担当者会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
〃	収入保険担当者会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
12月 24日	果樹共済システムWeb化PT会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
12月 27日	[協会] 第6回理事会 [全国連] 第6回理事会（テレビ会議）	和 歌 山 市
令和7年 1月 14日	家畜共済全国説明会（テレビ会議）	和 歌 山 市
1月 17日	近畿地区農作物共済担当者会議	京 都 府
1月 21日	近畿地区総務担当者会議	滋 賀 県
1月 22日	近畿地区広報委員会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
1月 23日	近畿地区任意共済担当者会議	大 阪 府
1月 24日	損害評価会果樹共済部会	和 歌 山 市
1月 27日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
1月 29日	水田農業推進会議	和 歌 山 市
〃	職域型年金委員合同研修会	和 歌 山 市
1月 30日	第2回収入保険Web会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
1月 30～31日	果樹共済システムWeb化PT会議	東 京 都
1月 31日	和歌山県信用農業協同組合連合会臨時総会	和 歌 山 市
〃	水田農業推進会議	田 辺 市
〃	近畿地区NOSA I職員研修会	和 歌 山 市
2月 3～5日	和歌山県常例検査	和歌山市・紀の川市
2月 3～7日	第3回普及推進研修会	東 京 都
2月 7日	都道府県農業保険制度関係担当者及び農業共済組合連合会等総務・指導担当者 合同会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
〃	第3回全国和牛能力共進会和歌山県出品推進協議会委員会	和 歌 山 市
〃	植物防疫協会理事会	和 歌 山 市
2月 11日	家畜診療技術者研究発表会	兵 庫 県
2月 13日	家畜診療等技術全国研究集会幹事会（テレビ会議）	和 歌 山 市
2月 13～14日	農業共済新聞全国研修集会	東 京 都
2月 14日	第3回西日本地区参事交流会議、第3回全国参事会議	東 京 都
〃	農林水産省主催経理研修会（リモート）	和 歌 山 市
2月 17～18日	収入保険実務担当者研修会	東 京 都
2月 20日	第2回退職給与金施設運用委員会	東 京 都
〃	果樹共済システムWeb化PT会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
2月 20～21日	家畜診療等技術全国研究集会	東 京 都

年 月 日	処 理 事 項	場 所
令和7年 2月 21日	近畿地区参事会議	滋 賀 県
〃	農林水産省主催農作物共済・畑作物共済研修会（リモート）	和 歌 山 市
2月 25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
2月 26日	第4回コンプライアンス改善委員会、第4回余裕金運用管理委員会	和 歌 山 市
3月 4日	NOSA I 情報化全国会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
3月 6日	[協会] 第7回理事会 [全国連] 第7回理事会	東 京 都
〃	農業振興制度に関する説明会	和 歌 山 市
3月 7日	損害評価会家畜共済部会	和 歌 山 市
〃	損害評価会果樹共済部会	和 歌 山 市
3月 14日	近畿地区収入保険担当者会議	滋 賀 県
〃	近畿地区事務機械化担当者会議	大 阪 府
〃	収入保険担当者Web会議	和 歌 山 市
3月 19日	第5回理事会	和 歌 山 市
3月 21日	果樹共済システムWeb化PT会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
3月 24日	損害評価会農作物共済部会	和 歌 山 市
3月 25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
3月 26日	[協会] 第3回全国特定組合長・会長会議、第150回臨時総会	東 京 都
〃	[全国連] 第30回臨時総会	東 京 都
〃	和歌山県信用農業協同組合連合会臨時総会	和 歌 山 市
3月 27日	園芸施設共済加入推進会議（テレビ会議）	和 歌 山 市
〃	収入保険テレビ会議	和 歌 山 市
3月 28日	家畜防疫・衛生指導対策推進事業に係る第2回推進委員会	和 歌 山 市

## イ 総代会

### (ア) 第8回通常総代会（令和6年6月27日）

総代会日現在総代数 (A)	80人	出席率	
本人出席 (B)	22人	(B) / (A)	27.5 %
代理出席	0人		
書面出席	58人		
出席者計 (C)	80人	(C) / (A)	100.0 %

#### 重要な議事及び議決事項

- 第1号議案 令和5年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案承認の件
- 第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算設定承認の件
- 第3号議案 令和6年度事務費賦課金の額、その徴収方法決定の件
- 第4号議案 令和6年度役員報酬、顧問弁護士の顧問料、顧問税理士の顧問料、損害評価会委員、損害評価員及び共済部長報酬決定の件
- 第5号議案 令和6年度借入金最高限度額等の決定の件
- 第6号議案 令和6年度余裕金預け先金融機関決定の件
- 第7号議案 定款一部変更承認の件
- 第8号議案 事業規程一部変更承認の件
- 第9号議案 諸規則一部変更承認の件
- 第10号議案 損害評価会委員補充選任の件
- 第11号議案 令和6年度引受から適用する農作物共済（麦）組合員別危険段階共済掛金率の設定承認の件
- 第12号議案 令和7年度引受から適用する果樹共済組合員別危険段階共済掛金率の設定承認の件
- 第13号議案 令和7年度引受から適用する畑作物共済組合員別危険段階共済掛金率の設定承認の件
- 第14号議案 「農業共済団体に対する監督指針」における実施体制の改善計画一部変更承認の件
- 第15号議案 附帯議決の件

ウ 組合員の増減

年度初組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
14,739人	14,227人	△512人	実組合員数

エ 役職員その他

(ア) 役職員

役 員				数	
理 事			監 事	合 計	
常勤	1人	非常勤	12人	計	13人
				3人	16人

事 項	職 員 数		
	男 (人)	女 (人)	計 (人)
参 事	1		1
総 務 部 長	(1)		(1)
事 業 部 長	1		1
本 所 総 務 課	2	3	5
本所企画情報課	3		3
本所収穫共済課	5		5
本所資産共済課	4		4
本所収入保険課	3 (1)		3 (1)
監 査 室	1 (1)		1 (1)
出 向 (全国連)	1		1
北 部 支 所	14	5	19
中 部 支 所	12	3	15
南 部 支 所	14	1	15
合 計	61	12	73

( ) 内人数は兼務

(イ) 総代、損害評価会委員、損害評価員、共済部長

総 代	損害評価会委員	損害評価員	共済部長
80人	66人	1,944人	2,145人